

全国下水道整備状況発表（平成 19 年度末）

国土交通省



The Knights

国土交通省は、平成 19 年度末時点での全国の下水道整備状況をまとめ、平成 20 年 8 月 22 日付けで水処理整備地区の人口、処理人口でみた普及率について発表しました。

この時点における全国の下水道処理整備地区の人口は約 9,111 万人。処理人口でみた普及率（下水道処理人口普及率）は平成 18 年度末の 70.5%から 71.7%と 1.2%増加しました。

又、都市規模別の下水道処理人口普及率においては、人口 100 万人以上の都市、県庁所在地都市の普及率がそれぞれ 98.5%、89.7%と高い普及率を示していましたが、人口 5 万人未満の市町村での下水道普及率は、42.7%。町村に限った下水道処理人口普及率も 43.7%と極端に低く、大都市と中小市町村の間に相変わらず、大きな格差が存在していることが報告されています。

なお、都道府県別で最も普及率が高かったのは東京都の 98.8%、最も低かったのが徳島県の 12.1%になります。埼玉県は 74.5%で第 12 位になります。

当社では、排水分析に長年の実績があります。排水分析に関しまして、何かご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2008 年 8 月 22 日付 国土交通省 報道発表資料
2008 年 8 月 22 日付 EIC ネット ホームページ

水質分析箇所 江上泰邦